

# だれも殺すな！ 再び戦争する国にさせない

2025年5月3日(憲法記念日)の新聞紙上に9条改憲と大軍拡に反対し、戦争を止め平和を訴える意見広告を掲載しよう

2025年は日本がアジア・太平洋戦争の敗戦国となってから80年の節目の年です。しかし、アジア侵略において、国内外で死傷させた人びとへの償いや戦争責任が十分果たされていないまま、日本はまた新たな戦前に向かおうとしています。今、沖縄や 南西諸島他で加速する基地建設・要塞化などはまさに戦争の準備です。その動きを止めるためには、「戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認」掲げる憲法9条を国に実現させることが必要です。

少数与党でかろうじて政権を維持する石破首相の持論は、「戦力の不保持」を定めた憲法9条2項を削除したうえで自衛隊を「国防軍」に改め、明記するというものです。「台湾有事」などを理由に、一部野党の協力で改憲に突き進む危険性もあります。

日本政府は、敵基地攻撃兵器の導入や殺傷能力のある武器輸出にまで踏み込み、イスラエルからの武器輸入さえはかっています。これは、イスラエルによるガザ地区でのジェノサイドや、他のパレスチナ被占領地の人びとに対する人権蹂躪に与することです。

米国との核共有を提起する石破氏が首相となった直後、「自分たちを最後の被爆者に」と活動してきた「日本被団協」(日本原水爆被害者団体協議会)のノーベル平和賞受賞が決定しました。筆舌に尽くしがたい肉体的・精神的苦痛を受けながら、その証言を通じて、たゆみなく核のタブー化を訴え続けたヒバクシャたちの献身的な活動が世界を動かしています。

今、戦後を80年で終わらせることなく、日本を再び戦争する国にさせないためには、一人ひとりの主権者としての行動が重要になります。2025年(第27回)市民意見広告運動は「誰でも参加できる紙上のデモ(意見表明)」として、5月3日憲法記念日の新聞に意見広告を掲載することを呼びかけます。ぜひ賛同して、皆さんの反戦・非戦の意思を表明してください。このチラシを周囲の人にも手渡して、その声を大きく成長させてください。

(この「払込取扱票」つきチラシは送料とも無料で必要枚数をお送りします。意見広告の掲載紙、賛同方法などは裏面をご覧ください)

2025年2月17日

市民意見広告運動 / 市民の意見 30 の会 ・ 東京



## 市民意見広告運動

〒108-0073 東京都港区三田3-4-17-206

TEL 03-6435-2030 FAX 03-6435-2031

Eメール info@ikenkoukoku.jp ウェブページ https://www.ikenkoukoku.jp



(スマホでウェブページが見られます)

\*この運動は、いかなる政党・政治団体にも属さない市民運動です。

\*常駐スタッフがおりませんので、お問い合わせはメール、FAXもしくはお手紙をお願いします。

キリトリ線

|   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 00  | 東京 | 払込取扱票   |    |
| 口座記号番号  |    |   |    |
| 00110   | 5  | 723920  | 金額 |
| 加入者名  |    | 料金  | 備考 |
| 市民意見広告運動  |    |   |    |
| ※ 賛同金<br>*個人 (1口2,000円) <input type="checkbox"/><br>*団体 (1口4,000円) <input type="checkbox"/> |    | ■ 意見広告紙面への名前掲載の可否<br><input type="checkbox"/> 可・不可 [どちらかを○で囲んでください。○がない場合は、可とみなして掲載します] |    |
| フリガナ  |    |   |    |
| おなまえ  |    |   |    |
| 郵便番号  |    | 携帯電話  | 電話 |
| おところ  |    | 日   | 附  |
| メールアドレス   |    | 印   |    |

## 振替払込請求書兼受領証

|            |          |   |
|------------|----------|---|
| 口座記号番号     | 00110    | 5 |
| 加入者名       | 市民意見広告運動 |   |
| 金額         | 723920   |   |
| おなまえ       |          |   |
| ご依頼人       | 様        |   |
| 料金 (消費税込み) | 日        | 附 |
| 備考         | 印        |   |

キリトリ線

5月3日の意見広告には賛同者のお名前を都道府県別に掲載します。広告紙面にお名前の掲載を希望されない方は左記の払込取扱票通信欄の「不可」の項に必ず○印をつけてください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 東第49436号)

これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は大切に保管してください。

【個人】

秋葉忠利 (前広島市長)  
石川逸子 (詩人)  
伊藤千尋 (国際ジャーナリスト)  
井上麻矢 (こまつ座・代表)  
上野千鶴子 (社会学者)  
内田雅敏 (弁護士)  
海老坂武 (フランス文学者)  
大石芳野 (写真家)  
太田修平 (障害者の生活保障を要求する連絡会議事務局)  
太田昌国 (編集者・評論家)  
岡村幸宣 (原爆の図丸木美術館学芸員・専務理事)  
神田香織 (講談師)  
黒沼ユリ子 (ヴァイオリニスト・童話作家・著述業)  
西郷南海子 (安保関連法に反対するママの会)  
最首悟 (和光大学名誉教授)  
財津昌樹 (グラフィックデザイナー)

坂元良江 (テレビプロデューサー)  
佐々木寛 (平和学者)  
澤地久枝 (作家)  
清水雅彦 (日本体育大学教授)  
杉原浩司 (武器取引反対ネットワーク [NAJAT] 代表)  
武井由起子 (弁護士)  
竹内良男 (ヒロシマ講座主宰)  
田中優子 (法政大学名誉教授)  
寺尾紗穂 (音楽家・文筆家)  
永田浩三 (ジャーナリスト・武蔵大学教授)  
中野晃一 (政治学者)  
中山千夏 (作家)  
花崎皋平 (著述業)  
菱山南帆子 (総がかり行動実行委員会共同代表)  
玄順恵 (画家)  
松浦悟郎 (カトリック司教)  
武藤一羊 (ピープルズ・プラン研究所)

武藤類子 (福島原発告訴団団長)  
森達也 (映画監督・作家)  
山内敏弘 (憲法研究者)  
山口幸夫 (原子力資料情報室・共同代表)  
山城博治 (沖縄平和運動センター顧問)  
山田朗 (明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)  
山本巨 (俳優)  
山本義隆 (予備校講師)  
湯川れい子 (音楽評論・作詞)  
渡辺厚子 (「日の丸・君が代裁判」元原告)

【団体】

赤とんぼの会／声なき声の会／市民の意見30・関西／人権平和・浜松／第九条の会ヒロシマ／日本カトリック正義と平和協議会／ピース9の会／被爆二世の会／ほっかいどうピースネット

意見広告掲載は 2025 年 5 月 3 日 (憲法記念日)

◎誰でも参加できる紙上のデモ

どなたでも市民意見広告運動の賛同者になっていただけます。まわりの方にも市民意見広告運動への参加をすすめてください。このチラシ(点字版あり)は送料とも無料でお送りしますので、必要枚数をご請求ください。

◎意見広告の掲載は2025年5月3日(憲法記念日)

2025年5月3日の広告は都道府県別に賛同者名を紙面に掲載し、それを活かしたデザインです。掲載紙は未定ですが、複数の全国紙他、できるだけ多くの紙面への掲載をめざします(前回2024年期は東京新聞、毎日新聞全国版、八重山毎日新聞、読売新聞全国版、琉球新報の5紙に掲載)。

◎意見広告で訴える内容

実際に掲載する広告の文面は、このチラシの内容をもとに、今後の状況変化を反映させて決定します。

◎賛同金の送り方と締切日

2025年期(第27回)市民意見広告運動に賛同される方は、このチラシのゆうちょ銀行「払込取扱票」(振替用紙)に必要な事項を記入してご送金ください。個人賛同金1口2,000円、団体賛同金1口4,000円です。締切日は2025年4月7日(月曜日)です(締切日以降の賛同は紙面にお名前を掲載できません)。

その他の送金方法については、事務局までお問い合わせください。

◎必要事項は詳しくご記入ください

お名前には必ずフリガナをおつけください。送付物が確実に配達されるように、集合住宅にお住まいの方は部屋番号まで、ペンネームなどで賛同される方は表札のお名前を「方・気付」の形で付加してください。また、携帯電話番号をお書きいただくと、転居時など事務局からの連絡が必要になった際の確認が容易になります。

◎意見広告紙面への賛同者氏名掲載の可否について

広告紙面にお名前の掲載を希望されない方は、「払込取扱票」の「意見広告紙面への名前掲載の可否」の確認欄で、必ず「不可」の項に○印をつけてください(可・不可のどちらにも○印がないなど確認できない場合は、原則として掲載しますのでご了承ください)。

◎意見広告掲載紙名の通知

広告掲載紙名は決定次第、市民意見広告運動のウェブページで公表します。また、2025年4月23日までに返信先明記の往復ハガキを事務局にお送りくださった方には、掲載紙名を折り返しお知らせします。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

